

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおいうみ

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 09 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	利用者や家族が制度の活用が必要になってきた時に、説明し、活用のための支援が出来る体制の整備。	制度の資料やパンフレットを準備し、職員研修を実施し、理解してもらい、利用者や家族が必要に迫られた時に、活用のための申請の手続き方法等説明し、関係機関の橋渡しをしていく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	現在終末期に向けた支援を家族と相談しながら始めているが、今後は支援体制の確立とマニュアル化で、利用者や家族が安心して重度化や終末期に向けて、取り組む支援を目指す。	ターミナルケアの指針を作成し、ホームで支援出来ること、出来ないことを明示し、利用者、家族、関係者が方針を共有し、終末期のきめ細かな支援体制を確立していく。	12ヶ月
3	37	災害対策	AEDを設置し、非常災害時に活用出来るように、防災訓練時に職員の研修を実施している。緊急事態発生時の非常用備品等をまとめて用意していく。	非常災害時の、不測の事態に備え、持ち出し可能で、利便性の高い非常食、飲料水、非常用備品などの備蓄の準備をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。